科目名	フィットネスビジネス１							年度	2026
英語科目名	Fitness business 1							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース　1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	テクノジムジャパン	教員の実務経験		有	実務経験の職種		フィットネスコンサルタンシー		

【科目の目的】

フィットネス業界の理解を深め、就職活動に繋げていくための企業研究をおこなっていきます。

【科目の概要】

スポーツ・健康業界の動向や基礎知識について学びます。

【到達目標】

A　フィットネス業界について理解する
B　スポーツ・健康業界の動向を理解する
C　コミュニケーション能力を身につける

【授業の注意点】

授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができません。授業態度が著しく思わしくないものは、その出席分を認めない場合があります。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	フィットネス業界を理解し、キャリアデザインに活かすことができる		フィットネス業界について理解している		フィットネス業界を知っている
到達目標 B	スポーツ・健康業界の動向を理解し、自身に合う企業を選別することができる		スポーツ・健康業界の動向を理解している		スポーツ・健康業界を知っている
到達目標 C	対人において情報共有及び意思の疎通ができる		対人において情報共有を行うことができる		対人において相手の問いに対して答えることができる
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

必要に応じて適宜資料を配布します

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	フィットネスビジネス１	年度	2026
英語表記	Fitness business 1	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	フィットネスビジネスとは	1	フィットネス	フィットネスについて理解している	2	
			2	フィットネスビジネス	フィットネスビジネスについて理解している		
2	フィットネス状況①	各国のフィットネス①	1	国内	国内のフィットネス状況について理解している	2	
			2	グループディスカッション	国内のフィットネス状況について意見交換ができる		
3	フィットネス状況②	各国のフィットネス②	1	国外	国外のフィットネス状況について理解している	2	
			2	グループディスカッション	国内のフィットネス状況について意見交換ができる		
4	フィットネス市場①	市場環境①	1	過去の市場	過去のフィットネス市場について理解している	2	
5	フィットネス市場②	市場環境②	1	現在の市場	現在のフィットネス市場について理解している	2	
			2	比較	現在と過去の市場比較について理解している		
6	フィットネス需要①	需要動向①	1	クラブ利用状況	フィットネス利用状況について理解している	2	
			2	消費動向	消費者の動向について理解している		
7	フィットネス需要②	需要動向②	1	消費者心理	利用者の心理状況について理解している	2	
8	フィットネス需要③	需要動向③	1	オンライン	オンラインフィットネスについて理解している	2	
9	フィットネス需要④	需要動向④	1	実施率	国内でのフィットネス実施率について理解している	2	
			2	比較	国内と国外の実施率について理解している		
10	フィットネス需要⑤	需要動向⑤	1	スポーツ白書	スポーツ白書について理解している	2	
			2	データの利用	データを基に様々な事象を読み取ることができる		
11	フィットネス経営①	経営動向①	1	収支について	フィットネスクラブの収支について理解している	2	
12	フィットネス経営②	経営動向② （各クラブ比較）	1	プラン	各フィットネスクラブのプランを理解している	2	
			2	グループディスカッション	各クラブについて様々な意見交換をすることができる		
13	フィットネス経営③	経営動向③ （各クラブ比較）	1	施設	各フィットネスクラブの施設の充実度について理解している	2	
			2	グループディスカッション	各クラブについて様々な意見交換をすることができる		
14	フィットネス経営④	経営動向④ （各クラブ比較）	1	コストパフォーマンス	各フィットネスクラブのコストパフォーマンスを理解している	2	
			2	グループディスカッション	各クラブについて様々な意見交換をすることができる		
15	まとめ	情報の集約	1	インストラクター	各フィットネスクラブのインストラクター評価について理解している	2	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等